

はじめに

平成 26 年 8 月 29 日に発表された「ICT を活用した教育の推進に関する懇談会」報告書（中間まとめ）の中に

ICT の特長を生かすことによる教育の質の向上として、教育の情報化ビジョンにおいては、21 世紀を生きる子供たちに求められる力を育むには、ICT の特長を生かすことが重要であり、その特長を生かすことによって、一斉学習に加え、個別学習や協働学習の推進が可能であるとされている。

その ICT の特長としては、

- ① 時間や空間を問わずに、音声・画像・データ等を蓄積・送受信できるという、時間的・空間的制約を超えること
- ② 距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができるという、双方向性を有すること
- ③ 多様で大量の情報を収集・編集・共有・分析・表示することなどができ、カスタマイズが容易であること

このような ICT の特長を生かすことにより、これまで実現が難しかった学習場面が容易になるケースが生まれ、一斉学習、個別学習及び協働学習を効果的に行うことができるようになる。（一斉学習とは「一斉指導による学び」としており、個別学習は「子供たち一人一人の能力や特性に応じた学び」、協働学習は「子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び」としている。）

そのため、思考の可視化や瞬時の共有化、試行の繰り返しが ICT の活用により容易となる学習場面が構築され、子どもたちの学力の向上へと結びついてくると提言されている。

そのような中で、愛教研情報教育委員会では継続している研究主題のもと、「高度情報通信社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成」「ICT を活用した学習指導の工夫・改善」「教員の ICT 活用指導力の向上」の三つの研究のねらいを目指し、昨年度からスタートさせたタブレット端末を用いた活用の研究を進めてきました。今年度は、教師が活用するモデルから、一斉学習、個別学習及び協働学習を効果的に行うことを考え、児童生徒がグループで 1 台や個人で 1 台の授業形態における活用例を検証し、報告するとともに、各支部を含めた研究の成果をまとめたりして、今年度の情報教育に関する実態を報告させていただいております。

また、松山市小学校情報教育研修会に参加させていただき、情報教育先進地域の状況を多くの先生方に知っていただく機会が持てましたことは、大変有意義なことであり、その際松山市小学校情報教育研究委員会の多くの先生方にご協力とご配慮をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

なお、本研究紀要が、児童生徒の日々の授業の中で、学力の向上や資質の伸長のために、少しでも生かしていただけたところがあることを願っております。